

使用上の注意事項

- ◆本剤はナラ枯れ予防用樹幹注入剤であり、カシノナガキクイムシの加害前に処理することをおすすめします。
- ◆着葉期に使用する場合、高温期はさけ、紅葉始期までに使用することをおすすめします。
- ◆注入孔は樹幹下部の周囲に分散させ、ドリル等を用いて直径5mm程度の注入孔を斜め下方に約45度に傾けて主幹導管部まで孔を開けてください。注入孔専用の微量注入器を用いて1穴当たり0.5ml点注してください。
- ◆薬剤注入量は、樹幹の胸高直徑の大きさに従い、増減させてください。
- ◆本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は林業関係機関、林業技術者の指導を受けることをおすすめします。
- ◆本剤を処理した樹木をきのこ類のほだ木など栽培用には使用しないでください。
- ◆適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を確認してから使用すること。なお、樹種により使用適期が異なるので、林業関係機関、林業技術者の指導を受けることをおすすめします。
- ◆本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- ◆本剤は皮膚に対して刺激性があるので、注入の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- ◆街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当口)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄張りや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- ◆消防法の危険物第4類第2石油類に属するので火気に十分注意してください。
- ◆火気や直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

使用前にはラベルをよく読んでください

ラベル記載以外には使用しないでください

小児の手の届く所に置かないでください



サンケイ化学株式会社

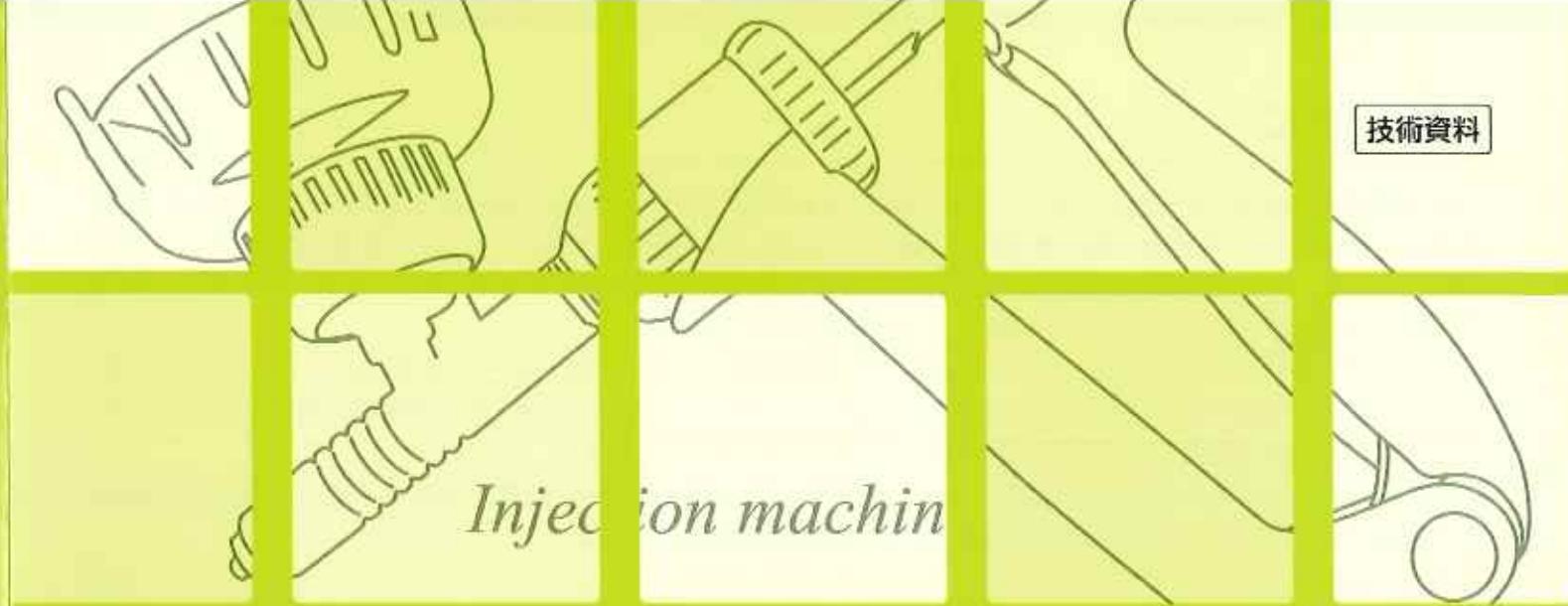
本 社 鹿児島市南栄二丁目9番地

☎ (099) 268-7588

東京営業部 埼玉県深谷市幡羅町1丁目13-1

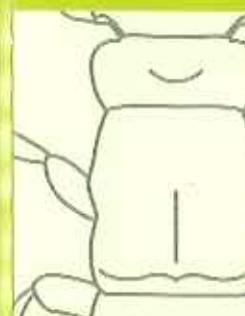
☎ (048) 551-2122

NIK-201603-T

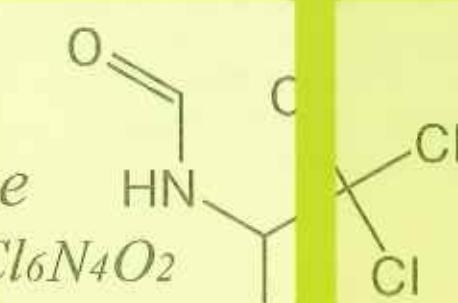


微量注入用 ナラ枯れ予防用樹幹注入剤

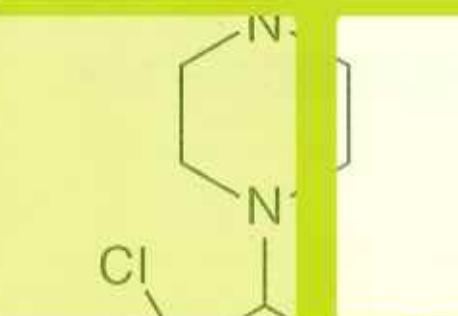
ウッドキング DASH[®]



Triforolite
C₁₀H₁₁N₄O₂



Platypus
quercivorus



サンケイ化学株式会社

旧社サンケイ化学㈱の登録商標

はじめに

なら類の集団枯損(ナラ枯れ)はカシノナガキクイムシ(Platypus quercivorus 通称カシナガ)が樹幹内に持ち込むアンブロシア菌の一種であるRaffaelea quercivora(通称ナラ菌)によって引き起こされることが知られています。その被害は拡大傾向を示しており、近年は日本海側を中心に被害が大きく、また、太平洋側においても発生が確認されていることから枯損防止対策が急がれています。

ナラ枯れ被害の拡大防止手段として、枯損木への殺虫剤の注入やくん蒸、また、予防手段として未被害木への穿入を物理的に阻止する事を目的とした資材の設置などが行われています。中でも、殺虫剤の樹幹注入による未被害木の予防法は、施用効果が確実なことから、非常に注目されています。

微量注入用ウッドキングDASHは低コストで簡便確実な枯損拡大防止、高濃度少量注入法の技術の開発を行い、平成25年7月10日に(農林水産省登録第23301号)登録取得しました。

微量注入用ウッドキングDASHの特徴

①高い予防効果

本剤をカシナガの加害する前に樹幹注入することにより、カシナガ穿入時に持ち込まれるナラ菌及びカシナガの餌となるアンブロシア菌の増殖を長期※にわたって阻害し、枯損を阻止します。

※2年間の残効を確認済。

②優れた注入性

本剤を専用の微量注入器で処理する事で注入不良に伴う効果不足、及び注入容器の回収がなくなるため、既存の注入剤に比べ大幅に労力を低減します。

③高い安全性

人畜毒性は低く、魚介類に対する影響は少ない安全性の高い薬剤です。

微量注入用ウッドキングDASHの登録内容

登録番号: 農林水産省登録 第23301号

有効成分: トリホリン…15.0%

性状: 淡褐色澄明液体

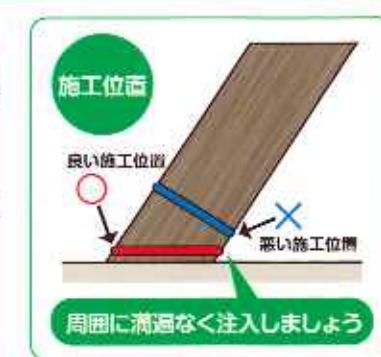
人畜毒性: 普通物(事物にも動物にも該当しない)

規格: 50ml入り

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリホリンを含む薬剤の総使用回数
樹木類 (なら類を除く)	萎凋病	胸高直径 20cm未溝: 2.0ml 20cm~30cm: 2.5~3.0ml 30cm~40cm: 3.5~5.0ml 40cm~50cm: 5.5~8.0ml 50cm~60cm: 8.5~13.0ml 60cm以上: 胸径4cm 増すごとに 0.5mlを追加	—	—	樹幹注入	—
なら類			若葉期、 但し紅葉始期まで			

使用時のポイント

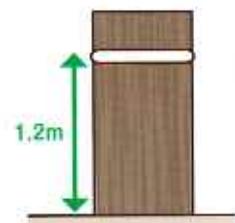
- ドリルで注入孔を開ける時は、無理に力を入れないようにしましょう。
- 地上高20cm程度の幹に注入しましょう。注入位置が高いと、それより下の部位にカシナガが孔を開け、ナラ枯れ菌を媒介することがあります。ナラ枯れ菌は辺材部で繁殖し、通水機能を低下(導管閉塞)させて樹体が枯死してしまいます。
- 注入孔を開ける場合、できるだけ等間隔に分散させてください。
- 樹に亀裂が入っている場合は、腐っている部分がある可能性があります。どこが腐っているか把握して、腐っている場所の下方への注入は避けましょう。



使用方法と手順

胸高直徑を測定し、適正使用量を決定します。

薬剤注入量は、樹幹の胸高直徑の大きさに従い、増減させます。
登録内容をご確認ください。



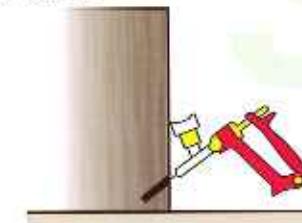
ドリルで穴を開けます。 (ドリル刃は木工用の直徑5mmを用いる)

主幹の地際でドリル等を用いて直徑5mmの注入孔を開め
下方に約45度に傾け、深さ4cm程度の孔を開けます。



専用注入器で注入孔に0.5mlを注入します。

注入用針を注入孔底付近まで挿入し、薬剤を注入します。
静かに針を引き抜き、注入が完了します。



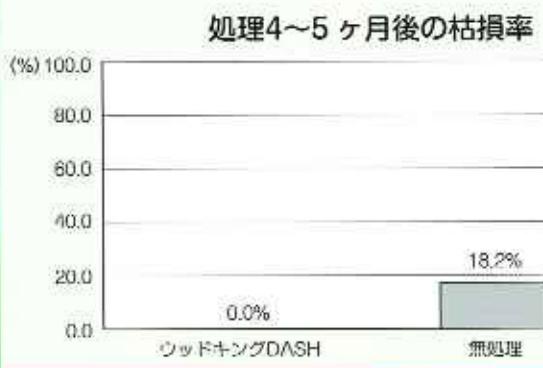
*: 注入用針を注入穴底付近まで挿入し、薬剤を注入。静かに針を引き抜き、注入完了。

薬効試験成績(抜粋)

樹種: ミズナラ コナラ 汽入日: H23年 5月下旬~6月上旬
対照薬剤: ウッドキングSP 施設日: H23年 9月上旬
試験場所: 山形県森林研究研修センター



樹種: すだじい 汽入日: H23年 5月9日
調査日: H23年 9月~10月
試験場所: 森林総合研究所(東京都三毛島)



樹種: うばめがし 汽入日: H25年 12月16日
対照薬剤: ウッドキングSP 接種日: H26年 6月 5日
調査日: H26年 7月18日
試験場所: 森林総合研究所九州支所(立田山実験林)



処理適期

なら類: 若葉期、但し紅葉始期まで
すだじい: 春期
うばめがし: 冬期

注意事項

樹種により使用適期が異なるので、林業関係機関、林業技術者の指導を受けることをおすすめします。